

みやけの風

第 84 号

平成14年(2002年)6月29日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「2年だな」「うん、2年だ」「地震で揺れて揺れて、あんどきゃ怖かったなあ」「だから。それでも何だかんだ言って騒いでただけどよ～、やっぱ皆で一緒にいたから楽しかった面もあったよなあ」「ハイ、水が来た、弁当が来たっちゃあ皆で運んだしな」「考えようによっちゃあ、今もそれが続いているってことじゃねえ?」「う～ん、まあ俺は自信持ってはっきり言い切れんけど、ただそうでなきゃいけねえってことは思うぞ」「だからよ」

みんなの声

ゆめ農園の花がやって来た!

「ゆめ農園の花が届きました。希望する方はセンターまでおいで下さい」という、嬉しい回覧板が桐ヶ丘三宅島ボランティア会から運ってきました。

先日、テレビでゆめ農園のお花を来園者に配布している場面を見たばかりです。農園で働く人から、石ころ混じりの固い土地を根気よく耕して、土作りからはじめたという話を聞いていたので、その努力がもう花を咲かせたのがと感動の思いです。そのゆめ農園の花が、桐ヶ丘にも届けられたとの知らせに胸がいっぱいです。花は萎えた心を癒してくれる、これ以上のものはありません。花はゆめ、希望が広がります。

いつの日かバードアイランドといわれた島を、鳥と花いっぱいのゆめの島にと願っていた花をプランターに植えつけました。ありがとうございました。

(北区桐ヶ丘 葛西 梢)

かんじゅうあおがしま

『還住 青ヶ島』をめぐるお便り

「突然のお便りで申し訳ありません。私は、三宅島に12年前にわたり、2年前の噴火災害により、現在都内で避難生活を送っている三谷彰と申します」と言う書き出しで始まった、三谷氏のE-MAILにお返事が来ました。長く地道な活動を続けておられる歌手の横井久美子さんへのメールです。

「今回の三宅島の事件は、山田常道さんの「還住 青ヶ島」にも匹敵する事件で、いつになったら島に戻れるのか分からない状況の中で、非常に厳しい現実には3600人の島民たちが晒されています。

一中略一何とか島民の絆を守るために島民自身の必死な活動が続けられています。

ところで、お願いなのですが、その「還住 青ヶ島」ですが、メロディは覚えているのですが、肝心の歌詞が断片的にしか思い出せません。ぜひ三宅島の島民たちにこの歌詞を伝えることができたらと思っておりますので、大変にお手数ですが、全歌詞をメールにてご返送いただければ幸いと存じます。お忙しいところ、まことに恐縮ですが、よろしく願いいたします。」

ご本人のご承諾を得られましたのでさっそくいただいたお返事を掲載させていただきます。

「三谷様。うれしいメールをありがとうございました。今までたくさん私のコンサートを聞いていただいてありがとうございます。「還住 青ヶ島」は三宅島の噴火があつてからまた、歌い始めています。

先日、5月9日、13日、相模原大野のグリーンホール、相模原市民会館でコンサートがありました。そのとき「今、街を歩いていると一番目にはいるのは、三宅島の訴えですよね。同じ東京都の島で、大昔、三宅島と同じような噴火のあつた青ヶ島の歌です」といって『還住 青ヶ島』を演奏し

ました。演奏後、聞いた方から「三宅島の人々の苦勞をおもいだす」という感想を聞きました。頂いたメール、三宅島の方たちの生の声が伝わるので私のホームページに載せさせていただきます。

『還住 青ヶ島』の詩は、亡くなられた山田常道前村長の同名の歴史小説から採り、曲をつけました。もう20年以上も前、山

田村長にも会い、青ヶ島にも行ったことがあり、懐かしいです。でも、ふるさとを思い、ふるさとに還り住みたいと願うこの歌は、「涙の仮寝」をされている三宅島のみなさんの気持ちと同じではないかと思えます。今後もこの歌を三宅島のことを話しながら歌っていきます。 横井久美子」

「還住 青ヶ島」 山田常道詩/横井久美子曲

山焼けて生計（たつき）失い 去る島人の心根哀れ
岩に泣き潮（うしお）に叫び 命絶ちし一百余人

八丈に情けはあれど 身は浮き草の涙の仮寝
舟づくりからがら帰る 波風強しはるか海原

土をなめ草に息して したたる水に露命をつなぐ
恋しきは青き故郷 還住の想いをいつか果たさん

三宅島社会福祉協議会より

介護保険制度について

介護保険制度では、申請日からサービスを利用できます。要支援・要介護の認定が受けられるかどうかの判断が難しい場合も、ぜひ村役場や社協、あじさいの里のケアマネジャーにご相談ください。介護サービスの利用料の減額措置がとられた場合は、車いすや介護用ベッドなども毎月800円程度で借りられます。

また、社協やあじさいの里では、申請の代行も行っております。この他民生委員や情報連絡員にご相談いただいても結構です。

■よさこいソーランへの招待

「よさこい」という、高知県伝統のおどりをアレンジしたよさこいソーラン。これを東京理科大よさこいチームが踊り、『慶応大学藤沢キャンパス七夕祭』の雰囲気作りと感動的なフィナーレの演出をします。是非みなさんもお参加ください！コンセプトである「ONE」。みなさん一つになりましょう！

日時：7月6日(土)19:00~19:45

場所：慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
メインステージ

行き方：小田急江ノ島線・相鉄いずみの線・横浜市営地下鉄 湘南台駅より「慶応大学行き」バス20分

三宅島支援“親子防災デイキャンプ”開催

日時：平成14年8月4日(日) 午前10時~午後3時

場所：関東学院大学金沢文庫(釜利谷)キャンパス
(京浜急行電鉄金沢文庫よりバス野村住宅センター行きまたはパークタウン西行き終点下車徒歩3分)

内容：ミニサバイバルウォークが午前9時(ゴールまで約1時間)金沢文庫駅前からスタート。防災競技、炊き出し、応急手当訓練、防災サバイバルクイズなど盛りだくさんの企画がずらり。体育館では、三宅島災害パネル展を実施。

問い合わせ：TEL045-844-2885 申し込み：FAX045-844-2894

主催：都市防災研究所 協力：三宅島社会福祉協議会